

将来の南多摩尾根幹線沿線のまちづくりアイデア

テーマ：シェアリング・ジム with ウェルネス・カフェ

背景

コロナの影響により、「健康」や「収入」に対する不安が高まり、「副業」を検討する人が増えている。^{※1}同様に「運動不足」の意識が高く、活動場所が都市や職場から「自宅周辺」へシフトしている。^{※2}

多摩市としては「健幸まちづくり」を目指されているところであり、「フレイル」の対策として①適切な栄養摂取②適切なトレーニング③人と人のつながりを挙げられている。

※1 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（第2回） 内閣府 政策統括官

※2 コロナ禍での生活実態とまちづくりの方向性 国土交通省

アイデア

シェアリング・ジム

トレーニングジムスペースのシェアリングをすることで、「運動を教わりたい人」と「運動を教えたい人」をマッチングする。教えたい人には、プロトレーナーだけでなく、これからトレーナーを目指す人、国士館の体育学生、副業として始めたい人など、新しい層を想定。コロナによる「自宅周辺での運動」ニーズに対応する。

また、「これからトレーナーを目指す人」に対して、起業支援（プロの講演会、起業塾、助成金、コミュニティ通貨）も選択できるような仕組みが必要。

「大型モニター」や「鏡張りの内装」を設えることで、対面での（パーソナル）トレーニングだけでなく、オンラインフィットネス、ダンスレッスン、など幅広い使い方も可能である。

ウェルネス・カフェ

「運動」と共に大切なのが適切な「栄養接種」である。シェアリング・ジムに隣接して、カフェのシェアリングをすることで、（トレーニング後の）健康意識の高い人やトレーナーや飲食店経営者を目指す人などの交流拠点とし、イノベーションを誘発する。栄養補助食品やオーガニック系の原材料など栄養価にこだわった商品、尾根幹線のロードバイク利用者にも選ばれるような駐輪スペースや商品展開とする。

住まい：横浜市 年代：30代 職業：会社員